



Ferris University

2013 No.11

フェリス女学院大学同窓会会報



2012年秋竣工 山手8号館音楽学部新校舎

《聖句》

「心を尽くし、知恵を尽くし、力を尽くして神を愛し、また隣人を自分のように愛する」

マルコによる福音書 第12章33節

祈り

学院理事長 奥田 義孝



2011年11月に理事長をお引き受けしてから一年半が経過しました。この一年半を通じて、改めて感じさせられたのは、学院理事会は、在校生だけでなく、同窓生の皆さまにも責任を負っているということでした。入学前の進学志望校は変えられませんが、卒業すれば、生ある限り、その学校は母校です。若い日々を過ぎた母校が、愛する心の故郷であり、誇りに思える学校であり続けることは、一人一人の人生に少なからず意味を持つと思うのです。所謂学歴至上主義の時代は終わりましたが、それぞれの人格的アイデンティティーの原点としての母校の持つ意味は変わらないのみならず、むしろ大きくなっているのではないのでしょうか。

大学入学年齢である18歳人口の減少が遠からず始まります。私立大学の4割が既に定員割れと伝えられ、大学をめぐる経営環境の厳しさが指摘されて久しくなりました。学院は、理事会のもとに高等教育再編委員会を立ち上げ、これまで大学が策定してきた中長期的な将来構想「グランドデザイン」を、学院全体の総合的視点からブラッシュアップすることを決定しました。急速に変化する時代の流れの中で、変えてはならないものを守り、変えるべきものを変えることとの大切さを思い、ラインホールド・ニーパー(1892-1972)の「祈り」を、改めてともに心に覚えたいと願います。

The Serenity Prayer

God, give us grace to accept with serenity the things that cannot be changed, courage to change the things that should be changed, and the wisdom to distinguish the one from the other.

(Reinhold Niebuhr)

心を静める祈り

神よ、どうかわたくしたちにお与えください——

変えることのできない事柄には

それを落ち着いて受け容れる恵みを

変えるべき事柄には それを変える勇気を

そうしてこの二つを見分ける英知を。

(本学文学部名誉教授 小塩トシ子先生訳)

同窓生の皆さまのご理解とご支援を切にお願い致します。

フェリス女学院の一五〇年史編纂の開始にあたって 学院長 大塩 武



フェリス女学院は二〇二〇年に創立一五〇年を迎えます。創立一五〇周年事業の一環として、校史の編纂に取り組むことになりました。

一五〇年史の編纂にあたって、鈴木美南子フェリス女学院大学名誉教授に編纂委員長ご就任をお願いすると同時に、建学の精神である「キリスト教の信仰に基づく女子教育」、そして「アメリカ改革派教会の支援」を、フェリス女学院の一五〇年の歴史全体を奏でる主旋律とすることについて相談させていただきました。ご理解をいただくことができました。

以上のような旋律を奏でるフェリス女学院の一五〇年史の執筆者として、小塩山梨東京女子大学教授、中島耕二明治学院大学客員教授、大西比呂志フェリス女学院大学客員教授、井上恵美子フェリス女学院大学教授、荒井真フェリス女学院大学教授、斉藤直フェリス女学院大学准教授、武尾一彦

フェリス女学院中等学校教諭を、鈴木美南子先生からご推薦いただきました。

ところで、学校史だけでなく会社史についても言えることですが、必要な歴史時期、必要な人物、あるいは必要なトピックスについての情報を入手するため、必要な箇所とその周辺の頁を紐解くという読み方が普通です。フェリス女学院の一五〇年史にはそのような用いられ方に応える工夫を施します。索引機能の充実です。百科事典のような用いられ方を可能とする程に索引機能を充実させ、フェリスの一五〇年史に「フェリス女学院百科事典」の機能を併せ持たせたいと願っております。

一五〇年史は二分冊とし、上巻は創立時から敗戦まで、下巻は敗戦から二〇二〇年までを扱います。上巻の刊行は二〇一八年、下巻は二〇二〇年を予定します。

最後に、一五〇年史の編纂開始にともない、学院の資料室は、卒業生の皆さんの短大あるいは大学時代の資料を求めています。写真や印刷物、学校時代の思い出の品など、フェリスに関わる資料をお持ちでしたら、学院資料室にお声をかけていただければ幸いです。連絡先は以下の通りです。
045-662-4411、shryo@ferris.ac.jp

一五〇年史の刊行に皆様のご理解とご支援をいただきたくお願い申し上げます。

学長挨拶

学長 秋岡 陽



同窓会のみなさまには、母校への変わらぬご支援・ご理解をいただき、ありがとうございます。心より感謝申し上げます。

さて、学長に就任してから一年余がたちました。この間、総会をはじめ、同窓会のみなさまに集まりに可能な限り出席させていただきました。そうした会で、いつも聖書が読まれ、賛美歌がうたわれ、そして祈りがささげられることに感銘をうけると同時に、「フェリスらしいな」と嬉しく思いました。

同じ学窓から巣立った卒業生が今またともに集まり、ともに聖書のみことばに耳を傾け、声を合わせて賛美し、ともに祈る。しかもそれが、ごく自然に会合のプログラムの一部に組み込まれていて、ごく自然に皆が心を開き、声を合わせることができ。フェリスならではの素晴らしい伝統です。

こうした伝統は、誰かが急に作るうとし

て作れるものではありません。学院に連なった大勢の方たちの祈り、そして何より学院を愛する気持ちの「リレー」によって築かれてきた伝統です。こうした「積み重ね」を大切に、受け継いでいくことの大切さを思わずにはいられません。

同窓会のみなさまとお話していると、かつての思い出の名教師・恩師の思い出が語られる場にしばしば遭遇します。そうしたお話をうかがうことも、楽しみのひとつでした。かつてフェリス女学院で教えられた先生がたの思い出話に、ときには爆笑、ときには深く感銘。卒業生のそうしたお話をうかがいながら、フェリスがいかにいい学校だったか再確認し、そして今も誇りの母校であることを強く感じました。

大学は二〇一五年に創立五〇周年を迎えます。一口に大学と言っても、かつての短期大学や、さらにさかのぼるなら専門学校時代の伝統も受け継いで現在の大学があるわけですから、それを考えると五〇年以上の長い伝統を現在の大学は受け継いでいます。この伝統をさらに五〇年先、一〇〇年先に良い形でリレーしていかなければいけない。この節目の年を迎えるにあたり、同窓会のみなさまには、さらなるご助力をお願いすることもあるかと存じます。なにとぞ今後ともかわらぬご理解・ご支援のほど、心よりお願い申し上げます。

維持協力会のご案内

フェリス女学院の維持協力会は、学院の発展及び財政基盤の確立に寄与することを目的として、一九九五年に設立されました。

設立以来、同窓会、卒業生の皆様から多大なるご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

二〇二二年度末までに四億九七〇〇万円のご寄付が維持協力会に寄せられ、そこから二億五二〇〇万円が校舎の整備のために使われました。大学関係としては、緑園キャンパス図書館棟、体育館の建築のために使われ、最近では山手キャンパス八号館の耐震・改修工事のために使われています。

フェリス女学院の教育構想を掲げ、フェリス女学院の存在意義を社会に示すために、現在グラウンドデザインの策定を学院全体で進めています。大学の将来計画もその中に含まれ、新校舎建築の可能性も想定した計画を検討中です。

グラウンドデザインの内容は、いずれ同窓生の皆様にも発表する予定ですが、大学のさらなる発展、教育・学習環境の整備、拡充を図るため、今後も維持協力会募金へのご支援ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

●ご寄付の方法

原則として一口一万円としています。金額にかかわらずお受けいたします。専用の振込用紙で、最寄りの金融機関からご

送金ください。振込用紙は、ご請求いただければすぐにお送りいたします。継続的にご寄付くださる方には、銀行口座からの自動振替もご案内しておりますので、お問い合わせください。

●会員登録

寄付金のご入金と同時に維持協力会へのご入会となります。

ご入会后、会員の皆様には、年に一回、個別の寄付金累計額を記載した「入金明細」を送付させていただきます。また、フェリス女学院維持協力会たより『緑の丘の上で』をお送りして、維持協力会の状況報告をいたします。

寄付金総額が二五万円に達した方は、終身会員として登録いたします。終身会員の皆様には校歌CDを差し上げ、その後も引き続き年に二回、フェリス女学院広報『ALL FEERS』を毎月お届けし、学院の近況をお伝えいたします。

●寄付金控除

維持協力会へのご寄付は、特定公益増進法人への寄付金として優遇措置が受けられます。確定申告のための必要書類は、学院からお送りいたします。

●お問い合わせ・資料請求先

フェリス女学院本部事務局 総務課
電話 〇四五―一六六―一四五一
E-mail hsounu@ferris.ac.jp

Fグループ・りてら・りべるて合同総会

2013年6月8日・カイパー記念講堂にて



第十回合同総会は、青葉の美しい山手カイパー記念講堂で開催されました。

初めて六月と致しましたが、幸いお天気に恵まれ約二百名の出席を得まして盛会となりました。

開会にあたり、同窓会を代表してりべるて金子会長より、りてら小澤会長、Fグループ熊本会長の紹介と、三同窓会の活動に対して皆様方より寄せられたご理解、ご協力への謝辞が述べられました。また、十一月三日(土) Fグループ主催の研修会とフェリスホール募金コンサートを、りてら、りべるても協力して開催するご案内と皆様へのご協力をお願いしました。

礼拝は、大学宗教主任廣石望先生、奏楽は中川葉音さんにお願いました。廣石先生は、申命記第十章二十九節、マルコ福音書第十二章二八・三三四節を朗読され『最も重要な掟』と題されてお話されました。カイパー記念講堂の荘嚴なパイプオルガンの響に包まれ、ここに参加できる喜びを感じると共に、この場に集う事の叶わなかった同窓生の平安を祈りました。ご来賓としてご臨席いただきました秋



岡陽学長より、同窓会活動への感謝の言葉と、音楽学部が昨秋新校舎がオープンし、学ぶ環境が整い学生達が喜んで勉強している等、大学の様子をお話されました。

次に、Fグループ会員の海野美栄さんによるソプラノ独唱をパイプオルガンの伴奏でお聞きました。澄んだ美しいお声がかいパー記念講堂に響き渡り、皆様聴き入っていました。

懐かしい校歌を歌い、記念撮影をして講堂を後にそれぞれの会場へ向かいました。

来年は六月一四日(土)、山手で開催する予定です。皆様お誘い合わせの上、ご出席くださいますよう、お願いいたします。

Fグループ総会

6月8日、カイバー記念講堂で行われた合同総会では、幅広い卒業回の皆様とカイバー講堂全体に響き渡るオルガンの調べの中で共に礼拝を守り、卒業生の独唱があり、最後に全員で校歌を歌いました。

続いて山手キャンパス8号館アトサロンにて秋岡陽学長、立神榎子音楽学部長、宮本とも子先生、谷口昭弘先生、木村圭二先生をお迎えし、Fグループ総会を開催いたしました。

前期に引き続き選出された熊本美也子会長の挨拶に始まり、秋岡学長、立神音楽学部長より現在の大学の状況、これからの大学の行方についてお話いただきました。宮本先生、谷口先生、木村先生からもフェリスを愛し伝統を大切にすることを温まるお話を伺うことができました。

議事では12年度会計報告、会計監査報告、13年度予算案、12年度活動報告、13年度活動予定がそれぞれ承認されました。その後、新卒業生二名によるヴァイオリン、ピアノのフレッシュな演奏が披露されました。各支部の報告では、コンサートの開催、音楽ボランティアなど活発に活動されているお話を伺いました。

本年度もFグループコンサート、研修会などの、皆様の御参加を心よりお待ちしております。

(報告 亀山知子・35回)



りてら同窓生の集い

6月8日、12号館大会議室にて、りてら同窓生の集いが開催されました。

今年度は、GWを避け、6月第2週の開催となった合同総会ですが、梅雨の合間とは思えない天候に恵まれ、集いにも60名余りのご出席をいただきました。

今年度より、今春ご卒業の方に加え、卒業30周年の方を無料ご招待と致しまして、良いタイミングとご好評をいただきました。来年以降、30周年を迎えられる学年の方は、楽しみにお待ちください。

また、6月の開催となったためか、ご来賓も多数ご臨席くださり、集いでは、多くの先生方にお話を伺うことができ、学部の様子や楽しいお話を伺うことができました。昼食休憩後、幹事会報告がなされ、学年幹事の活性化のお願いと、出席者数名にお話いただき、和やかな懇談会となり、大学の先生方、世代を越えた会員の皆様とりてらの絆を前向きに感じることができました。

来年度も、皆様是非お気軽にご参加ください。

(報告 増田紀子・83E)



第24回 りべるて総会

6月8日(土)、カイバー記念講堂で行われた合同礼拝後、家政科記念館において、友井ゆり子先生をはじめ、秋岡陽学長、荒井誠副学長、円谷幸輝大学事務部長ご臨席のもと、出席者・委任状合計一、七三一名の主席者を得て、りべるて総会が開催されました。

会長挨拶に続き議事に移り、2012年度活動報告、決算報告、会計監査報告、2013年度活動計画(案)予算(案)が審議・承認され、「りべるて奨学金」の目録が学長に贈呈されました。

秋岡学長から、奨学金に対するお礼の言葉と日頃の活動に対する応援メッセージを頂きました。

荒井副学長は、家政科らしりべるての活動をこれからも続けて下さいとお話されました。

円谷事務部長は、経済的に困窮する学生が増えている現状でりべるてが奨学金を設立した事を本当に感謝して下さいました。

懇親会では、学年を越え皆様なごやかに歓談されていました。

来年もどうぞご参加ください。

(報告 岩江眞理子・D51)



二〇一二年度学位授与式

同窓会では、今年、

- 文学部 302名
- 国際交流学部 227名
- 音楽学部 97名
- 人文科学研究所 9名
- 国際交流研究所 1名
- 音楽研究科 16名



音楽会のご案内

パイプオルガンの研修会と募金コンサート

音楽学部宮本とも子先生による『み言葉と音楽』

くパッハの時代に焦点を当てて

と題するパイプオルガンの研修会とコンサート
11月23日(土・祝)フェリスホール

午後3時開演

会費 2000円

フェリスの原点である教会音楽をテーマに礼拝式の流れの中でオルガンの色々な役割を一緒に体験して戴ければ幸いです。

休憩の後は、音楽学部の先生他によるシヨパン、ミュゼリカルナンバリーなどの楽しい募金コンサートです。収益は、フェリスホールのために使わせていただきます。皆様のご参加をお待ちしております。

■主催お問い合わせ■

Fグループ 045-681-6740

協賛 りべるてりてら・フェリス白菊会・フェリス音楽教室

Fグループの皆様

Fグループ会長 熊本美也子(17回)



夏を迎え会報をお届けする頃となりました。

Fグループの皆様にはお健やかにお過ごしでいらっしやいます

か。2010年4月に会長の役目をお預かりして3年、同窓生の皆様の暖かいご支援、励まし、そして新たにホームページ担当者を加えた事務局、役員一同の熱意ある働きのお蔭を持ちまして任期を何とか勤めることが出来ました。全て

の皆様感謝申し上げます。

2013年4月より会長の任を再びお預かりいたしました。非力は元より承知しておりますがフェリスの精神を守り、母校と卒業生をつなぐ役目に微力を尽くします。どうぞ変わらぬご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今春、Fグループは学部・大学院合わせて113名の新卒業生をお迎えし、会員総数は3900名を超えました。卒業生一人一人が「良い勉強をした」と満足していることが短大時代から今までの誇りです。これからも地域を越えて全国の支部と力を合わせて音楽学部を応援してまいりたいと考えております。本年11月23日(土)にはフェリスの音楽を発信するシンボル

としてのフェリスホールに於いて「研修会」と「フェリスホールのための募金コンサート」を併せて開催いたします。フェリス女学院中高・大学同窓会とフェリス音楽教室の協賛をいただき、音楽学部の先生方と支部の同窓生の演奏で構成されています。詳しくは同封のチラシをご覧ください。

昨年が続いての募金コンサートで大変恐縮ですが、多くの同窓生の方々のお力添えをいただきましたら大変嬉しく存じます。

最後になりましたが、Fグループ会長として長きにわたり母校と卒業生のために尽くされた大島君子先生(3回)が2月にご逝去されました。先生に心から感謝と哀悼の意を捧げます。

山手8号館の一本桜

音楽学部 学部長 立神 粧子



山手8号館で迎えた初めての卒業式の日、校庭の古い桜の木が見事に咲きました。桜はなかなかの大木で、手の歴史と共にあると

いうような風格を備えています。この一本桜は音楽学部のシンボルツリーとして大切に守ってまいりたいと存じます。

2014年度から音楽学部演奏学科は定員を30名に変更します。社会の動向とここ数年間の受験

者数の推移に合わせて定員数を減らし再出発いたします。アットホームな雰囲気と細やかな教育を特色として、一人ひとりの個性を大切に育てる演奏学科でありたいと願っています。演奏学科の新カリキュラムでは、指導教員を選べる開かれた個人レッスンに加え、少人数アンサンブル活動の充実、横浜の音楽シーンにどんどん参加できるように力をつけるための取り組み、他学部開講を含むキャリアを考える科目など、フェリスならではのカリキュラムを用意しました。バレエなど心とからだの両面を整える身体表現系の授業も充実しつつあります。

音楽芸術学科では2011年に定員45名に増員し少しずつイノベーションを加え、現代人の多様なニーズに 대응できます充実したカリキュラム

で、社会とつながる学生の育成に力を入れていきます。地域社会でのアウトリーチ活動は着実に根ざしつつあり、卒業生たちは社会の中でしなやかにたくましく活躍しています。

2013年度中にフェリスホールの張り出し舞台を本格的なものに改修させていただきます。Fグループからの寛大なるご寄付と音楽学部学生会費繰越金のおかげさまと、同窓会の皆様には心よりの感謝を申し上げます。ようやく安全にステージを使用することができそうです。江口元子先生ご遺贈による江口奨学金も第1種から第6種まで整備し、意欲と能力のある学生たちの勉学環境に大きな助けとなっております。改めてここに感謝申し上げますとともに、同窓生の皆様からのご支援・ご協力も引き続きよろしくお願い申し上げます。

2012年度 音楽の贈り物

ジョイントコンサート
12年9月13日 フェリスホール

昨年9月13日(木)に行われましたFグループジョイントコンサートはソプラノ、ヴァイオリン、ピアノ、二台ピアノなど6組の同窓生をお迎えいたしました。特に楽理学科を前身とした音楽芸術学科が音楽学部創設されてから9年、初めて音楽芸術学科の新卒生を皆様に紹介できましたことはとても嬉しいことでした。音楽芸術学科の学生さんは大学に入ってから、本格的に歌やピアノを学ばれる方も多いと伺っておりますが、ドイッオペラのワンシーンを原語にて、演技付きで立派にお歌いになりました。



今回の出演者は若い方々が多かったのですが、姉妹でのピアノデュオやピアノソロも大変聞き応えがあり、その美しい音楽に聴き惚れるほど本当に素晴らしい演奏でしただけに、お客様が例年より少なかったのがとても残念でした。ずっと勉強を続けていらっしゃる様々な年代の演奏者にとつて、同窓生の皆様のエールは何よりの励みとなります。今年9月13日(金)18時30分開演(山手フェリスホール)です。懐かしい山手の丘で心温まる音楽をお聴きにいらつしやしませんか?同窓生の皆様のご来場を心よりお待ちしております。

また毎年出演者も募集致しております。アンサンブルでの出演も歓迎いたします。是非お問い合わせくださいませ。(担当 海野美栄・44回)

【12年度出演者】 *穴戸真知子(メソソプラノ音

芸61回) *平野亜衣(ヴァイオリン61回)・漆間有紀(ピアノ伴奏58回・院12回) *植松美帆(ピアノ独奏59回・院13回) *江草千枝(二台ピアノ院3回)・江草里枝(二台ピアノ院6回) *柿本結衣(ソプラノ56回・院10回)・小野直子(ピアノ伴奏56回) *漆間有紀(ピアノ独奏58回・院12回)

◆ジョイント・コンサート出演者募集

毎年9月予定のジョイント・コンサートはFグループ会員、音楽学部関係者であれば出演可能です。詳細は事務局までお問い合わせ下さい。(書類選考あり)

研修会 12年10月27日 緑園チャペル

昨年度の研修会は10月27日(土)に緑園都市キャンパスチャペルにて秋晴れの大変すがすがしい午前10時から、フェリス音楽学部名誉教授の渡邊明先生をお迎えして、ハインの詩によるシューマンの歌曲の公開レッスンをさせて頂きました。シューマン、ハインそしてクララと言う副題で、受講生ソプラノ二名(高橋仙佳・藤田直子氏)バスバリトン(押見春喜氏)の三名の方々による演奏、渡邊明先生からシューマンの歌曲が色々な曲に類似し影響を受けて作曲されている事や、ドイツ語の表現の仕方など多くの事を学び、最後に先生からアンコールを二曲頂いて84名のお客様と有意義なひと時を過ごさせて頂きました。今年度の研修会は11月23日(土)一部に「み言葉と音楽」講師に宮本とも先生をお迎えしオルガンの演奏による研修会、二部としてフェリスホールの為の募金コンサートをお送りさせて頂きます。是非足をお運び頂ければ幸いです。(担当 小濱美穂・42回)



ティータイムコンサート

12年11月5日 山手6号館601教室

12年度のティータイムコンサートは、本学音楽学部演奏学科教授の落合敦先生をお招きして、ピアノの演奏とお話をさせていただきました。

「芸術は必要か」というテーマに沿った、昨今の音楽業界の事情や落合先生が留学されて得た経験などのとても貴重なお話に、来場者の皆様は時々笑いを交えながら大変興味深く聞き入っていました。クラシックのプログラムだけでなく、素晴らしい即興演奏までしていただき、大変豪華な素晴らしいコンサートとなりました。



また、今年10月18日(金)に、岡田彩さん(ソプラノ)、伊豫田祐子さん(リコーダー)、林めぐみさん(オルガン)をお招きして、フェリスホールにて演奏とお話をさせていただきます。(担当 中川彩・61回)

Fグループ会長選挙報告 熊本美也子さん(17回)が再選

13年3月7日(木)フェリス女学院大学山手6号館601教室にて開催されました学年幹事会に於きまして任期満了に伴う会長選挙を実施致しました。前会長の熊本美也子さんが推薦を受け、再選されました。

有効総数82票(出席37・委任45)
信任82票

以上の結果を持ちましてFグループの会則に従い125名の過半数票をもって、信任されました熊本美也子さんが再選となり、引き続き会長として御活躍していただくことになりました。ご出席及び委任状をお送り下さいました学年幹事の皆様のご協力に感謝いたします。

Fグループ選挙管理委員会
委員長 遠山 洋子(10回)
委員 高瀬なつ江(17回)本阿彌詠子(20回)
長瀬紀久美(27回)森久美子(31回)

Fグループ2013年度コンサートのご案内

ジョイントコンサート

9月13日(金)18時30分開演
山手キャンパス・フェリスホール ¥1,000

【出演】
音楽：菅彩夏子(62回)
声楽：大町加津子(54回)神戸裕衣(61回)
ピアノソロ：西村泉(46回)
二台ピアノ：原野秀子(54回)中川彩(61回)
ヴァイオリン：伊郷彩花(56回)

ティータイムコンサート

10月18日(金)14時開演
山手キャンパス・フェリスホール ¥1,000
(茶菓子付)

【演奏とお話】
ソプラノ：岡田彩(53回・院7回)
リコーダー：伊豫田祐子(37回)
オルガン：林めぐみ(36回)

研修会とフェリスホールのための募金コンサート

11月23日(土・祝)15時開演
山手キャンパス・フェリスホール ¥2,000
(一口1,000円の募金も別途受付)

第1部 研修会「み言葉と音楽」
～バッハの時代に焦点を当てて～
【講師・演奏】宮本とも子
第2部 募金コンサート
【演奏】初垣佳子(48回・中部支部)
フェリスヴォーカルアンサンブル九州
(九州・山口支部)
土屋広次郎・星野聡・立神粧子・堀由紀子

《お問い合わせ：お申し込み》
Fグループ事務局(木曜日10時～17時)
Tel & Fax : 045-681-6740

大島君子先生を偲んで

木村 則子(22回)

去る2月24日、大島先生が逝去なさいました。11日の晩突然倒れられそのまま意識が戻る事なくあまりにもあっけなく先生は逝かれてしまいました。倒れた日にもレッスンをなさり、ご自身もいつものようにピアノの練習をなさり直前までまったく普段通りにいらしたとのこと、今でも信じられない思いであります。昨年80歳を迎えられ、4月にイギリス館で2回、12月には別府でもリサイクルをなさり、多くの



方がその演奏に感動されました。11月にはあしひびの50回記念コンサートがあり、先生は15名の出演者のレッスンを精力的になさいました。君子先生は「Ere Olmas」を貴かれた方でした。ご家族のため、生徒のため、母校のためにいつも誠心誠意尽くされ、長年師事してきた私にとつては音楽だけでなく、人生の先輩として心から尊敬できる方であり大きな存在でした。先生のレッスンは最近特に厳しくなられたように感じましたが、「いつまでも頼っちゃだめよ!」とおっしゃりたかったのかも知れません。君子先生、長い間本当にありがとうございました。

支部だより

北支部

支部長 工藤 羊子(30回)
2012年11月10日に仙台市にあります日本キリスト改革派仙台教会でクリスマス讃歌演奏会と題した、教会主催による復興支援教会コンサートに出演協力いたしました。1年以上前から準備し、多くの方々のご支援・援助、特にFグループ本部と仙台教会の教会員でもある同窓生の福井さんのご助力により、先の震災で大きな被害を受けた若林区での貧乏の会を実現できました。この場をお借りしまして、感謝申し上げます。

快く演奏して下さいました同窓生、応援に駆けつけて下さった同窓生、熊本会長もお越しく下さり、終了後は立神学部長も加わられての懇親会も持つことができました。
第2回目の北支部同窓生による震災復興支援の会は、来年催す予定であります。

中部支部

支部長 牛込 まり(25回)

昨年度のトビックスは、Fグループ中部支部で立ち上げた、女声アンサンブルの秋のコンサートデビューでした。大橋多美子さんの熱のこもった指導の下、めきめき腕を上げて、なかなかのものに仕上がりました。久々の舞台も最初の緊張はどこへやら・楽しめたようでした。後半の出演者もお客様に楽しんでいただける演奏をしてくれました。ふれっしゅは6名の参加で、フェリスのレベルの高さを証明してくれました。子供達の演奏会は、クリスマスに開催し出演者も多く、盛況に終わりました。今年度のふれっしゅは出演者が7名、大変嬉しいと思います。
秋のコンサートでは、もう一度アンサンブルが出演します。今回は難解な曲に挑戦しています。

関西支部

支部長 桐山 恵子(18回)

2012年4月に前支部長から新役員に引継ぎをしていただきました。Fグループの支部活動のこれまでの流れや内容をご説明いただき、それを踏まえて今後の活動を計画いたしました。また、これまで近畿・中国・四国支部となっていた名称を、

長く見ていく、というようなことから関西支部に戻すことを本部に提案し、幹事会で承認いただきました。
2012年12月、関西支部会費にて、新役員よりご挨拶

6月20日、京都にて関西支部総会開催のお知らせ、およびミニコンサート出演の呼び掛け、併せてFグループプロジェクトコンサート「出演募集」に関するお知らせをお送りいたしました。4月、改めて6月20日の総会についてのご案内を付いたしました。今回は、京都の八瀬で、昼食会を開催する予定を進めております。
会員のお住まいが広域にわたるため、毎回出席いただける人数が少ないうえ、大勢の同窓の皆様とお会いでき、相互の親睦と、母校の発展に貢献するごできればと願って計画しております。

九州・山口支部

支部長 安波 裕子(24回)

九州・山口支部はフェリスをより多くの方々を知って頂くために、音楽の花束シリーズで演奏会を行っています。2012年7月8日に宮崎オルブライトホテル(宮崎在住同窓生の協力)を頂き、11日、12日、福岡あいのホール。2013年1月10日、11日、タイ、バンコクにてフェリス紹介演奏会を行いました。昨年度は宮崎、タイと範囲を広げ前に一歩前進の年になりました。タイとは今年から交流も始まり、微力ながら大分とのパイ役として、お手伝いが出来たと思います。同窓生の活動の場として訪問演奏を4月、5月の木、5月老健センター、11月ららら、に伺いました。9月9日山手の丘音楽コンクール。2013年3月30日、西南支部同窓会総会及びFグループ総会をホテルオークラにて秋岡学長、立神学部長にいらして頂き、大盛況でした。
今年度は8月3日(土) あいれふホールで同窓生生徒さん達の合同発表会と学推薦5組の若し演奏家のタペも行います。
11月23日Fグループ本部主催研修会「ウォーカーアルバム」に九州にもお声がかかり参加致します。是非フェリスホールにお越しくださいますようお願い致します。
福岡では2014年1月10日(金) あいれふホールに於いて演奏会を予



定しています。常に「Ere Olmas」の精神を持さんと一緒に活動が出来ますことを嬉しく思います。また同窓会企画にいらしていない方々どうぞ参加お待ちしております。

学年幹事会

《二〇一三年三月七日(木)山手6号館601教室》

出席人数四〇名。二年度、一般会計収支報告(仮)および会計監査報告、二年度、一般会計収支予算案(仮)についての承認が行われ、各役員より二年度活動報告等がありました。また、昨年選挙管理委員会が発足しましたが、今回の学年幹事会で会長選挙が行われ、熊本也也子会長が再選されました。

昨年に引き続き、たくさんの方の幹事の皆様にお集まりいただきました。会の冒頭、立神音楽学部長より、受験者数の減少など支部を取り巻く状況はとて厳しく、同窓生の皆様にも積極的な支援をお願いするとのお話がありました。(報告) 菅原麻衣子・50回

fgroup 山手の丘音楽コンクール Fグループ賞

2012年山手の丘音楽コンクールに同窓会よりFグループ賞を贈呈いたしました。
《受賞された方々は、下記の通りです》

- ピアノソロ部門/都竹華代
- ピアノ連弾部門/青木真実・青木礼実
- 音楽ソロ部門/増田亜紀
- 音楽アンサンブル部門/竹内淳子・大谷祐子・久米本真央・箕輪恵理

弦楽器ソロ部門/宮尾悠
フルートソロ部門/竹内由子

フェリス音楽教室
こどもたちとともに58年

毎週水・土曜日
音楽学部校舎で授業

<山手教室>
045-212-2396

<緑園教室>
045-813-1070

http://www.ferrismusicinst.org

from
once a student

卒業生だより

「タイ、バンコックでの
出会い」 縄田 宏子(19回)



今から40年以上前に、未知の国、タイ、バンコックへやってきました。

最初の出会いは1972年にタイのヤマハに入社したこと。ヤマハの独特のシステムはフェリスの恩師、中田喜直先生の発案なのです。

キーボードハーモニ、ソルフエージュ、アンサンブル、即興演奏、作曲(自作自演)等、生徒と一緒に一生懸命勉強しました。

次の出会いはタイの皇族でもあるピヤパン先生。幼い頃よりヨーロッパで勉強され、クラウディオ・アラウ、ヨゼフ・ホフマンの弟子でした。7年前に先生が亡くなるまで、私のタイでの生活を全面的に応援して下さいままで、私の親戚のような方でした。

更なる出会いはバンコックシヨパン協会(ワル

シヤワ本部の会員です。1987年より3年に1回のコンクールを主催してきました。このコンクールよりタイから世界に羽ばたくピアニストが沢山生まれています。香港のシヨパン協会でも毎年開かれるフェスティバルに於いて多くの一流のピアニストに接し、彼らの自然体で暖かい人間性と音楽に対する謙虚で厳しい態度に心をうたれ、毎回沢山のエネルギーを頂いています。

これらの出会いは私に、楽しみながら一生勉強を続けること、音楽だけでなく他の色々なことにも広く深く興味を持つこと、人間的に成長しないとよい演奏が出来ないということ、世界は一つで人間は皆同じ、どんな人にも差別しないで同じように愛を持って接すること、を教えてくださいました。

私はまだ未熟な65歳。でも、ここバンコックで音楽と共に歩み続けられている事への感謝と幸福を少しでもフェリスの同窓生の皆様と分かち合いたいと思ひ、筆をとりました。

1971年タイへ渡る。ソロリサイタルの他、ヴァイオリン、チェロ、音楽等と共演。ピアノデュオで香港やマレーシアなども演奏。バンコックシヨパン協会副会長。ピヤパン協会委員。サヤムベツト9ミュージック(フリエミュージックスクール)を経営し、後進の育成に努める。

新役員紹介

副会長	熊本美也子	(17回)
会長	小林周子	(29回)
書記	濱田祐子	(31回)
書	亀山祐子	(39回)
企	安藤美保	(44回)
会	楠瀬由佳理	(35回)
画	太田三美	(35回)
常	海野有美美	(44回)
任	小濱美穂	(42回)
報	中川悦子	(61回)
任	米田彩	(35回)
監	白波瀬早百合	(36回)
査	太田和代	(25回)
局	小堀世美子	(26回)
事務	菅原麻衣子	(50回)
局	三俣貴代	(51回)
担当	柴田美和子	(21回)
	佐々木金田淑子	(36回)
	木村あづさ	(43回)
	井手史子	(36回)



2012年度会計収支報告

＜収入の部＞ (単位:円)

項目	予算額	決算額
終身会費	4,000,000	4,460,000
研修会会費	100,000	128,000
ティータイム会費	30,000	47,000
ジョイント会費	130,000	178,000
宛名シール	15,000	24,680
雑収入	50,000	82,414
総会費	0	29,000
クリスマスコンサート	0	38,000
小計	4,325,000	4,987,094
前年度繰越金	2,385,733	2,385,733
収入の部合計	6,710,733	7,372,827

＜支出の部＞ (単位:円)

項目	予算額	決算額
(1) 運営費	1,765,000	1,355,025
会議費	30,000	3,426
印刷費	60,000	54,819
通件費	150,000	134,332
交際費	80,000	74,110
事務費	50,000	8,948
備品費	100,000	0
出張費	60,000	15,540
交通費	450,000	400,020
学年幹事会費	70,000	50,650
特別委員会	15,000	0
予備費	100,000	0
(2) 活動費	3,650,000	2,813,837
総会関係費	600,000	542,946
研修会関係費	400,000	169,883
ティータイム関係費	130,000	109,093
会報関係費	650,000	535,404
ジョイント関係費	270,000	138,534
リサイタル後援費	150,000	56,000
支部関係費	600,000	600,640
慶弔関係費	650,000	606,022
ファミリーコンサート関係	100,000	55,315
予備費	100,000	0
(3) 諸会費	370,000	370,000
連絡会維持費	70,000	70,000
維持協力会費	300,000	300,000
(4) 積立金	750,000	750,000
名簿積立金	50,000	50,000
積立金	700,000	700,000
(5) 予備費	175,733	0
支出合計	6,710,733	5,288,862
剰余金		2,083,965
支出の部合計	6,710,733	7,372,827

監査の結果、妥当かつ正確であることを確認しました。 2013年2月18日

Fグループ会計監査 大谷 園子 (監査人)
小西 和代 (監査人)

おめでとうございます

土屋友紀さん(48回・院3回)
「第27回全国童謡歌唱コンクール」
関東甲信越地区ブロック決勝大会
ファミリー部門優秀賞

Fグループのホームページが、リニューアルされました。フェイスブックも始めました。



<http://fgroup-hp.org/>

Fフェリス女学院大学への募金箱のご報告

Fグループ催しの折、設置しております募金箱。その他より、大学学生支援基金へ¥1118、500を寄付いたしました。御協力ありがとうございました。

Fグループ事務局 木曜日10時〜17時

山手6号館601教室の貸し出し、宛名ラベルの印刷、演奏会の後援を行っております。詳しくは、事務局までお問い合わせ下さい。

ホームページにも掲載しております。

電話・FAX(045)681-6740
Email: fgroup@ferris.ac.jp

住所・電話・姓の変更

旧姓・整理番号(宛名ラベル右上にある7桁の英数字)と一緒にお知らせ下さい。

慶弔 同窓生、先生の慶弔をこゝ一報下さ。

Fグループ会報編集

米田 悦子(35回) 白波瀬早百合(36回)

りてらの皆さま

会長 小澤 美智子(70)



日頃よりりてらの活動に、ご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。

本年度は役員の任期満了に伴い、改選の年となりました。会長をお引き受けしてから、あつという間の三年でした。至らぬ私は周りの皆さまに助けられ、チャレンジして参りました。やり残したことを遂行するため、もう一期、会長を務めさせていただくことにいたしました。

半数の役員が、退任されました。三年間りてらの活動をお支えくださった旧役員、並びに会計監査の方々のお働きに心より感謝申し上げます。

新役員も旧役員と同様に、母校を思う気持ちに溢れた方々です。どうぞこれからの三年間、お見守りくださいますようお願い申し上げます。

今期の主な活動目標は、以下に掲げる三項目で、学年幹事会において承認いただきました。

- ① 学年幹事の見直しと幹事会の活性化
- ② ホームページの有効活用
- ③ りてらの軌道を残す作業

基本活動は、本会の大切な柱である

会員名簿の管理、母校と同窓生を結ぶ架け橋となること、同窓生の親睦の場となること、会報の発行となります。

さらに学生との交流や支援などに力を入れ、在学中から同窓会への理解を深めていただく努力をしていきたいと考えております。

同窓会りてらの運営は、各学年の代表である学年幹事と役員で構成される、学年幹事会において決議されます。

私たち役員は、その学年幹事会運営のお手伝いと、決定事項執行のお手伝いをさせていただいていると考えています。

同窓生の増加に対して、学年幹事会に参加(委任状を含む)する幹事の減少は、りてらの未来に暗い影を落としています。

学年幹事会が同窓会存続の鍵となっていることを、幹事の皆さまに深くご理解いただきたいと思います。そのため「① 幹事見直しと幹事会活性化」となった次第です。

幸いなことに大学同窓会総会後の「りてら同窓生の集い」において、幹事参加のない学年にお声掛けしたところ、そのうちの五学年・五名の方が、名乗りを上げてくださいました。感謝でございます。これからお声掛けをしままいりますので、皆さまのご協力をお願い申し上げます。

第一回りてら総会の頃

りてらの歴史を語るには、一九五〇年の短期大学開設からはじめなければなりません。その短期大学英文科が発展改組し、六五年に大学英文科・国文科が開設され、六九年に大学の第一回卒業生が巣立ちました。七三年にフェリス学院同窓会フェリス白菊会(大学)の部としてりてらは発足し、八四年三月に短期大学英文科同窓会『Eクラブ』の皆さま二五〇〇名をお迎えし、総会員数四二〇〇名で『白菊会』から独立いたしました。

学院創立一五周年・大学創立二〇周年の八五年に、第一回りてら総会が開催されました。当時の小黒聰学長をはじめ懐かしい先生方のご出席をいただき、一六〇余名の同窓生が集いました。

その数年前から、りてらは毎年一月開催の大学祭にカフェを出店し、同窓生や先生方との交流の場を提供してまいりました。お手製のケーキやクッキーを持ち寄り、幹事だけでなく、お手伝い有志の先輩後輩とにぎやかに営業を営みました。先生を囲む会を実施したりと、文字通りのHome coming dayでした。カフェは、山手十号館(旧シエル社宅)を会場としており、同窓生のお子さん達が仲良く芝生で遊ぶ、ほほえましい光景も見られました。

会報は、八四年から『りてら』というタイトルで発行が始まりましたが、この時のりてら会長は、現会長の小澤さんでした。

現在は会員数も増え、会報の封入発送作業は外注しておりますが、当時は学年幹事会の議事終了後に、揃って昼食を摂り、手作業で行っていました。封筒に宛名ラベルを貼付け、会報を三つに折って封入し、糊付け。まず自分の学年分から着手します。幹事会に出席しない、他の学年にご迷惑をおかけすることとなります。その頃は英文・国文共に幹事は四名ずつ居り、連絡を取り合って出席していました。昼食から作業中、手を動かしながら、先輩後輩とお喋りもお楽しみのひとつでした。

同じ学び舎で学んだ...という、母校を愛する気持ちでつながっている温かな雰囲気は、当時も今も、まったく変わっていません。

あなたも、このりてらの活動にご参加ください。



教育の重要性

副学長 荒井 真



大学という学者が研究に没頭している「象牙の塔」というイメージが強いですが、大学の歴史のなかで研究が重宝されはじめたのは、九世紀以降です。大学の長い歴史から見ると比較的最近だと言えるかもしれません。それ以前、大学では研究よりも教育の方に重点が置かれていました。

Universityの語源は、ラテン語のウニヴェルシタス(universitas)ですが、これは「組合」を意味しました。すなわち、大学とは元々、学生や教師のギルドのことだったのです。ヨーロッパ最古の大学は、一世紀後半に誕生したボローニャ大学ですが、ここでは、学生のギルドが教師を雇う形態をとっていました。学生から選ばれた学頭は、講義の時間割や教授たちの休暇の日数を決め、講義と討論の方法を決定しました。

当然ながら、受講料を払って授業を受ける学生たちは教育に対して並ならぬ関心をもっていました。学生ギルドは、授業をさぼった教師には罰金を科すという規約を定めていましたし、そもそも授業をさせる教師の選出を行ったのは学生たちでした。もちろん、神学で有名なパリ大学のように教師のギルドが中心にあった大学もありましたが、学生たちが教育を重視していたことは変わりなかったはず。

中世大学のみならず、近世の大学でも教える行為が研究よりも優位に置かれていました。とくにドイツ

の教授は教育熱心だったようです。一八世紀後半に活躍したゲッティンゲン大学教授の「ミヒャエリスは次のように述べています。少なくともドイツの最良の諸大学は、外国の大学より優れている。しかしこれは、ドイツの教授たちが外国の教授たちよりも学識豊かであるからではない。彼らが優れているのは、若者に必要な学問を講義するという目的をより多く果たしているからである。あのカントでさえ、ある時にはなんと週三十四時間もの講義を担当したことがあったようです。

当時、研究活動の中心は大学ではなく、各種のアカデミーでした。ドイツの大学における第一の責務は教育であり、研究・執筆活動は賞賛には値するが、教授の本務とはみなされていなかったのです。

ところが、一八〇〇年に設立された、ルリン大学以降、研究と教育の一体化が主張され、研究活動が優位に立つようになっていったと言われています。「最近有力な異論あり」。しかしながら、当時でさえ、教育が軽視されていたわけでは決してありません。教師は、自分で研究した成果を講義に生かすべきとされました。そこで真に目標とされたのは、教師と学生が共に研究し共に学ぶ知的な「コミュニティ」だったので

翻つて、現在の日本の大学を見ると、以前に比べて随分と改善されたものの、教育に対する関心がいまだ低いように思われてなりません。教授昇任の際に審査されるのは研究業績であつて、教育実績ではありません。また学生も、教員は授業のあり方にほとんど無関心に見えます。本学をより良くするために、教員・学生が「体となって」講義の質を高める方策を練つていかねばなりません。同窓会の皆様のご理解・ご支援をいただければ幸甚に存じます。

小さな旅くらぶ

一月一九日(月)、参加一五名で築地を散策してまいりました。一月とは思えぬ木枯しの吹く日。まずは場内を巡りました。昼近い市場は片付けに追われていて、ターレットが走り危ないほど。場外は、平日にも拘らず大変な人出でした。「木枯しや市場疾走ターレット」

通りの名にもなっている浪除(なみよけ)神社は珍しい枝垂れ銀杏がご神木。お歯黒の獅子頭も据えてあり必見です。

昼食は『つきじ田村』で頂きました。「品書きを読み合うてをり白障子」帰る頃には日が射してまいりました。



似田ふみね(70J)

本年度は十一月十九日(火)川越散策を予定しています。お問い合わせは、同窓会まで。

同窓会室より

昨年十一月三日、四日、緑園キャンパスにて大学祭が開催されました。りてらは、オリジナルグッズの販売を行い、場所も良く、予想以上の売り上げとなりました。今年も十一月二日(土)三日(日)に行われますので、大きなピンクの「のぼり」を目印に皆様でいらしてください。

りてらグッズは、ご好評な三種のトートバッグに加え、ゴールド・シルバーのポーチが新発売、いずれもマーク入りです。おなじみのペン類・クリアファイルも、新色を作成中。

先日開設されたホームページは、グッズを始め、りてらの最新情報満載ですので、是非ご覧ください。

なお、住所変更もこちらからできます。



りてら2012年度決算報告

(2012.4.1~2013.3.31)

●収入の部(円)

科目	決算
終身会費	16,080,000
預金利息	15,355
雑収入	2,000
収入小計	16,097,355
前年度繰越金	45,352,680
収入合計	61,450,035

●支出の部(円)

科目	決算
事務消耗品	38,374
印刷費	76,831
会報関連費	2,466,291
総会関連費	826,132
通件通信費	278,198
人际交往費	894,187
手数料	265,910
パソコン関連費	7,680
ホームページ関連費	141,421
会議費	1,230,300
卒業・入学関連費	109,585
交際費	831,847
備品費	22,000
一ス費	4,515
りてら祭費	69,300
大学祭費	23,260
大会費	1,005,315
就職課支援金	70,000
雑費	300,000
支出合計	9,905
次年度繰越金	8,695,181
合計	52,754,854
合計	61,450,035

同窓生だより

食することは人の輪なり

山田 玲子(82)

料理家になり、19年目を迎えております。海外へ行く仕事がしたいと思い、フェリスの学生生活の中では料理家になるなんて！考えても無かった事でした。3年になりゼミを決める時、福岡から赴任されるX先生・・・どんな先生??友だちと一緒に入りたいから・・・とあまりに安易に決めたのが元学長の宮坂ゼミでした。私達が宮坂ゼミ1期生となり、福岡から意欲満々にいらした先生、呑気なゼミ生ががっかりされた事でしょう！でも先生に鍛えて頂いた事は大いに今の仕事でも役に立っております。

4年生の夏にGSV (Children International Summer Village)、11歳児4人とリーダーが1か月間、12か国の仲間と過ごす国際キャンプに参加しました。私はフィンランドのキャンプに参加しました。日本では活発な子どもたちも言葉の大きな壁にぶつかり、うまくコミュニケーションが取れずにホームシックも重なり、日に日に元気がなくなっていました。そんなある時にJapan dayが来ました。朝から書道、折り紙など日本の文化を紹介し、夜は



日本食を全員に出します。ちらし寿司で、と日本でも何度が練習しましたが、総勢80人のちらし寿司・・・まだ22歳の私と11歳児4人と悪戦苦闘でした。何とか出来上がったお寿司を浴衣を着た子供達が運んで行きます。疲れてグッタリした私の元に子供達が「玲子さん、うまいっつて！おかわりあるかな・・・」と笑顔で走って来ます。さっきまで言葉が通じないと泣いていた子供が外国の子供と肩を組んでお寿司を説明している姿。食することは人の輪なんだ。食は一番身近な外交だと感じ、いつの日か料理の仕事をしたいと思いい一九九五年に料理家として仕事を始めました。フェリスの友だちに料理家になる事を相談すると、背中を押してくれ、クラス開催の案内状を作ってくれたり、レシピを打ち込んでくれました。22歳の時に夢みた仕事を長く続けられてるのは、大学4年間ゼミやクラブで共に楽しい時間を過ごした仲間が、今でも力になってくれて支えてくれているからです。

クラスの生徒さんの中で多くのフェリスの卒業生がいらっしやいます。日本の食材や料理を海外に広めたいと、ニューヨークやシンガポールでの料理クラスも開催しています。海外でも、「先生のプロフィールにフェリス卒とあったので！」と参加して下さる方がいると同窓生の応援は何よりうれしくパワーの源になります。食を通じて私ができる事を今後も続けていければと願っております。

幹事さん、同期会を開きましょう!

同窓会活動の一番の楽しみは、同期会の開催ではないでしょうか。りてらは、学年幹事の方々が活動しやすい環境を整え、同期会・クラス会をたくさん開いていただけるようにお手伝いしていきたいと思っています。

「横浜市認定歴史的建造物」に指定された6号館別館に、カフェテラス・フェリスがあるのをご存知でしょうか。学生の憩いの場として二〇〇三年より営業しており、運営は卒業生の手で行われています。近々改装工事に入りますが、リニューアル後は同期会のための特別プランをご用意する予定です。他よりゆとりのある時間設定で利用でき、手作りの美味しいお料理をご提供いたしますので、是非ご検討ください。(同期会プランの詳細は、決まり次第HPに掲載いたします)

また、同窓会の折に、「横浜市認定歴史的建造物」に指定された10号館(旧シエル住宅)や、3号館跡地(旧山手校舎)の見学を行ってはいかがでしょうか。ご希望の場合は、見学許可のご用意をいたします。その他にも、連絡用宛名シールの打ち出しなど、同窓会の準備に関してお手伝いできることもいろいろとございます。立ち上げの目処がたつたところで、学年幹事さんより一度りてら(04581218692火・木曜10~16時)へご相談いただければ幸いです。

今後、益々活性化する開かれたりてらへの窓口として、学年幹事の方々の役割は、これまで以上に大切なものとなってまいります。学年幹事の任期は、原則3年となっておりますが、各学年のご事情に併せて活動し易いよう順次引き継いでいただき、今後とも尽力させていただきますようお願い致します。



新役員紹介

会長	小澤 美智子(70 J)
副会長	羽田 明美(79 J)
会 長	宇佐見 瑞枝(85 J)
会 計	木村 貴美(85 J)
書 記	山縣 聡子(84 J)
會計監査	狩野 從子(60 E)
	田辺 真弓(72 E)
	森 由美(83 J)
	増田 紀子(83 E)
	山縣 幸子(84 J)

半数が、ニューフェイスです。新たな気持ちで三年間頑張りますので、よろしく願っています。

りてらアーカイブ 8

今回は大学開設の時から十七年間、国文科で教鞭をとられた遠藤祐先生です。

フェリスびとのために

遠藤 祐

まずはご挨拶から始めましょう。

〈りてら〉を支えている皆さん、「ごきげんよう」お世話になった学び舎の建つ山手（「やまのて」でなく「やまて」なのだど東京に生まれ育った私は自分に言い聞かせています）の丘を離れて以降、貴方がたの聲が耳許に届いていまままでに、久しい年月がたちました。その声はほかならぬ「フェリスの声」として、懐かにひびき近かにひびきます。そしてわたしのように茫然としていた「フェリスびと」を呼び醒ましてく

れました。ありがとう。ご無沙汰のお詫びに添えて、歌をひとつおくりましょう。私は昔から唄うことが好きでした。大学生のころコール・アンジェルスという合唱団に所属して、昼休みにアーケードの下で讚美歌その他を唄っておりました。おくりするのは「Love's Old Sweet Song」「やさしき愛の歌」と題されたこの曲を、ご存知のかたも少なくないと思います。



はるけき 古えの日
よいやみ 迫りしとき
ほのかに 耳に入りし
そは優しき 愛のうた
たえなる その調べは
ふかく胸に のこりぬ
ゆうべの歌 ゆめの声
なやみしげき この世にも
しずむ心 なぐさむる
ひびきゆかし 愛のうた
優しきうた

ご一緒に唄えたらいいのですが、それはずぐには叶いません、あしからず……

この曲はモロイ、たしかロンドンに住んだ弁護士の仕事作曲だったと覚えていません。心に沁みいる歌詞と調べ、好きな歌はほかにいづくかあるけれど、いま「Love's Old Sweet Song」であるのは、どうしてだろう……とわが身に問えば、それはひとえにODEの語に惹かれたためだ、と気がきます。

ODEには〈古い〉とともに〈昔なじみの、なつかしい〉との意味があります。そのなつかしい「フェリスびと」のわれにたしかえった私は、おなじ「フェリスびと」の懐かしい皆さんに、帰郷の挨拶をいたします。ですからそれはおのずから「今日は」でなく、ミッシェル・スクールに独自の「ごきげんよう」となりました。

ところで、私たちにお馴染みのあの「胸突き坂（私の仮称）」をはじめ登ったのは、いつのことだったか、顧みれば一九六五年の春、大学開設のトキでした。フェリス女学院の院長で、初代の学長であられた山永武雄先生に招かれて、山手の丘に身をおくことになったのです。以来九二年に聖心女子大学に転出するまでの七年を、日本の近・現代文学担当の教員として過ごし、その間に学生たちを迎え、そして送り出して来ました。そこに私たちがすべてを結ぶべきながが生まれたのを、大事なことだと感じます。私は聖心のあと昭和女子大学の大学院に移って、研究者の育成を続けましたが、それも定年退職となり、いまはわが家で悠々自適、といえば聞こえはいいが、つまりは何もしな

いでんびり暮らしている——というのが現状です。超絶老骨、化石人間の域を徘徊と先ごろ『玉藻（フェリス女学院大学国文学会発行）』に誌したのですが、いままの書きを自認する私は、感性のみずみずしさを失ってはなるまい、と自身にいましめています。

数年前、私はフェリス女学院大学から、文学博士号（第三号）を授与されました。審査の対象となったのは『大宰治の〈物語〉』（翰林書房社、二〇〇三年）です。その後続けた研究をまとめて、二〇〇五年に『宮澤賢治の〈ファンタジー空間〉を歩く』（双文社出版）を、翌〇六年に『宮澤賢治の物語たち』（洋々社）を、二〇一〇年に『イーハトヴへの招待』（洋々社）を刊行しました。

なおフェリスの論文博士の第一号は、現在講師をしておられる安藤公美さんであることを書き添えます。

りてら同窓会室

開室 毎週火曜日・木曜日 10時〜16時
（大学の春・夏・冬期休暇中は閉室）
住所 〒二四五―八六五〇
横浜市泉区緑園四―五―三
フェリス女学院大学内
電話 〇四五―八二―八六九二
FAX 〇四五―八二―八九六六
URL <http://littera.gr.jp>
Eメール info@littera.gr.jp

りべるて

Vol. 25
家政科同窓会

二五年を迎えて

会長 金子 和恵



皆様、いつもりべるての活動にご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。ご協力をいただきましてありがとうございます。

今年も会報をお届け出来ますことは、奇稿並びに編集にご尽力くださいました皆様のお蔭と感謝申し上げます。

家政科が発展改組され、同窓会がりべるてとなつてから二五年となります。この間常に新しい試みを実践されてきた歴代の役員の皆様によりまして、今の同窓会があります。二五年を迎え、気持ちも新たに学校と同窓会を繋ぐ役割を果たして参りたいと思っておりますので、会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。

去る六月八日に開催された総会には多く

の卒業生にご出席頂き、中でも昭和二八年卒の先輩にお元気なご様子で出席頂いたことは大変嬉しいことでした。そして、りべるてをいつも温かく見守り、お導き下さいます友井ゆり子先生をはじめ、秋岡陽学長、荒井誠副学長、円谷幸輝大学事務部長にご臨席を賜り大学の様子などを伺いました。

また、同席上で秋岡学長へ二〇二三年度りべるて奨学金を贈呈いたしました。学長からは「皆様の温かいご支援に感謝します」とのお言葉をいただき、少しでも在学生のお役に立てた事は、ご理解いただきました皆様のお蔭と感謝しております。三年目を迎えたこの奨学金は、経済的理由で勉強を諦める事がないようにと考え創設し、現在までに八名の学生へ貸与しています。

また、大学との関わりとして、学生課が主催する『ひとり暮らしの学生応援プロジェクト』に協力し五年となります。放課後、家政科記念館を会場にお料理やお菓子の教室などを催し、在学生に家政科の歴史とりべるての活動をお話ししています。

さて、同窓会が一番大事な事は名簿の管理ですが、現在、約九〇〇名の方の住所が不明です。皆様の住所は、卒業以降同窓

会が一括管理していただきますので、転居や地番変更等で住所不明となりますとお手紙をお送りすることが出来なくなります。どうぞ変更等ございましたら、同窓会までお知らせください。また、お友達でお手紙が届いていない方をご存知でしたらご連絡ください。

私たちは、八〇才を超えた第一回卒業生から四五才となる最後の卒業生まで約五五〇〇名のりべるて会員の想いは、山手で学んだ楽しくキラキラした青春時代にあると考えています。会報やクリスマスカードをお送りすることで山手の風をお届けできたらと思っております。

りべるてでは、十一月にバザーを予定し、また随時各種講習会も開催しております。今後の予定をご覧頂き、皆様お誘い合わせの上どうぞお出掛けください。また、毎週木曜日は、家政科記念館を開館しております。お近くにお越しの際はお立ち寄りください。

これからも皆様と共に歩んでまいりますので、よろしくお願ひ申し上げます。



二〇二三年度役員

会長	金子 和恵	D
副会長	村本とよ子	D
書記	小倉由紀子	D
書記	北村 周子	D
会 計	遠藤木美子	D
総 務	石井 克子	D
〃	池田 昭子	D
〃	近藤 誠子	D
〃	鈴木 初枝	D
〃	岩江眞理子	D
〃	三藤 裕子	D
〃	竹内 久美	D
〃	三浦由里子	D
〃	郷 佑美	D
会計監査	浅見 治美	D

行事予定

- 十一月一日(金)・二日(土)
フェリス祭参加バザー
- 十二月四日(土)
フェリス女学院中高・
大学同窓会
クリスマス礼拝

二〇二四年

- 一月二九日(水)
大村先生の
スタンディングクラス教室
- 二月二七日(木)
大森先生のお菓子教室

リベるて25周年を迎えて



1988年発行の会報「山手88」に掲載された文章です。
お二人の先生の想いを胸に活動を続けて参りました。

短期大学家政科の発展改組について

名誉顧問(元学院長・理事長)
中島 省吾



1987年12月23日に文部省から、
大学文学部国際化学科の設置を認める旨の通知がありました。これは、

6月末に行ったフェリス女学院からの申請に応えたものですが、短期大学家政科について、1988年度から新入学生の募集を停止し、その在学生の卒業をもって、家政科の歴史に終止符をうつことを前提にしたものです。
短期大学家政科の将来について、家政科教授会の先生方から危機感が表明されるようになったのは、十数年もまえ(宮本元院長の頃)だったと思います。そして、その時に、被服・食物・保健を中心とする、いわゆる「一般家政」中心のカリキュラムを改め、基幹としての衣食住に児童教育、社会経済、情報文化、外国語などの科目を大幅に加え、必修を減らし選択の自由を拡大されました。

この変更は、今日の家庭婦人に家庭をこえる広い視野が期待されていること、また、職業的に豊かな教養をもって仕事に取り組むことを望む学生たちが多いことを認識して行われたものといえます。云いかえれば、家庭におい

ても社会においても、新しい時代に即応できる、創造的で知性豊かな女性の養成を目指していました。

このようなカリキュラムの改訂によって、フェリスでは、他校で家政科の志願者が減るころから、かえって短大家政科の志願者が増加し、卒業生や入学者の資質について社会から高い評価をうけるようになったといわれます。

私が学院長に就任して間もない頃から、各学校の将来に対する要望をうかがって、高等教育再編成が計画されることになったわけですが、そのときに短大家政科教授会は、4年制大学への発展改組の要望を提出されました。

しかも、これは、家政科への入学生志願者も在学生も4年制の大学でさらに本格的に勉学したいという意欲が多くに高くなっていることを考慮されたことでした。山手地区では、学生の総数は法律によって増やせないことになっていたので、4年生大学のプログラムを拡充するに

は、短大の縮小あるいは廃止を前提とせざるをえません。しかもその際に短大家政科教授会のご意見として、家政学部あるいは家政学科をつくるよりも、近年の家政科カリキュラムの改訂の方向にそって、新しい学部もしくは学科をつくる方がよいというご意見が強く述べられました。

そのような意見にそって関係者が検討された結果、大学文学部と国際化学科を設けることになったのです。

大学の文学部国際化学科は、このような経緯のなかで、家政科が近年目指していた教育の発展改組として誕生しました。また、六号館や家政科の資金の多くを引きつぐことによつて、その発足が可能となったといえます。

名称的にはつながりが薄くようにみえるかもしれませんが、短大家政科が近年目指してきた方向をすめて、生活文化にとどまらず、社会的かつ国際的に広い意味を含んだ文化意識の涵養を目指し、一層開かれた、かつ自由

なプログラムへと飛躍したといえましょう。

『家政』という名称が消えることは大変寂しいことですが、「国際文化」という表現のもとに、フェリスの家政教育の伝統が新しい衣を着て再出発したと考えています。

なお、先般、理事会のご理解がえられ、6号館第2別館は「短期大学家政科記念館」として永久保存する方針が認められました。そして、この建物は家政科同窓会の活動のために貸与されることになっています。

また、大学同窓会の会長らとの話し合いにおいて、短大家政科同窓会は将来現在の大学同窓会「りてら」や、音楽科が音楽学部の同窓会とならんで、大学同窓会のなかの一つのグループとして位置づけるという方向で協議をすすめています。

短大家政科同窓会の皆さん方がこのような状況を理解され、国際化学科の発展にご理解とご支援とお寄せ下さるとともに、家政科同窓会における交りを一層深め、実り多くまた心暖まってお働きを永くお続けになるように願つてやみません。

歴史を創る者へ

学科長 五十川 周作



家政科は今年度限りをもってその歴史を閉じます。四年制の国際化学科として新たな歩みを開始するからです。家政科はその最高の社会的評価と共に山手の一等地に位置する華麗な校舎と校地、及び家政科がこれまで蓄積してきた資金の全てをフェリスの新しい歴史の流れの中に投入しました。

即ち家政科は歴史を創る者の側に立ったのです。したがってこの歴史を創ったものは家政科卒業生だと私は思っています。真に歴史を創った者が歴史書にその名を現わすことはありません。それが記録と言われるものの性格だからです。しかし事実は歴史の源流に否定すべくもなく存在します。源流なくして如何なる流れも生まれ

ようがないのですから。

新たな歴史を歩み始めたフェリスが何処までそして何時までこのことを覚えてくれるかを私は知りません。しかし、このこと、すなわち、家政科は歴史を創る者の側に立ったということは、目に見えない家政科記念碑として、家政科の卒業生が最後の一人になるまで語り継いでほしいと思います。

歴史を創る者は自らの生命を新たな歴史のなかに止揚させます。家政科も歴史を創った者の宿命として自らの歴史を閉じなければなりません。しかし母校が無くなつたとは思わないでください。校舎も教師もいつかは消えて行くものだからです。母校とは、むしろ、遊びであれ勉強であれ、真摯で純粋であった時代の自分自身と、その自分自身を思い起こして呉れる学友たちへの憶いです。

家政科同窓会は、いまや、独立した家政科卒業生自身の集まりです。心おきなく自由に集いつて学生時代の友情を暖めて下さい。家政科同窓会が家政科の自由な校風を継承してユニークで透明な若さに溢れる集いに育つて行くことを期待します。卒業生一人一人のご健康を祈ります。

1988年「山手88」より抜粋

献品のお願ひ

学院維持協力会に協力するため行なうりべるてバザーに、ご家庭で利用されない未使用の日用雑貨品や贈答品等がございましたら、献品くださいますようお願い申し上げます。

尚、食料品、衣類は除外させていただきます。(郵送・宅配便可)

●受付期間 十一月一日まで
毎週木曜日 十一時〜十五時

●受付場所 家政科記念館
〒二三一八七九〇 横浜市中区山手六八
家政科同窓会りべるて苑

あの頃を訪ねて ホテルニューグランド

皆様は謝恩会をどちらで行いましたか？

少し調べてみましたらS30年代からS40年代に卒業をされた方の多くはホテルニューグランドで開催されていました。そこで、懐かしい思い出のホテルニューグランドを訪れてみました。

山下公園に面するホテルニューグランドは昭和2年12月、幕末に開設されたフランス病院跡を敷地として開業しました。関東大震災で壊滅的な打撃を受けた横浜の復興をめざし組織された「横浜市復興会」で外国人向けホテルの建設が決まり、官民一体となり建設が進められたそうです。設計は当時38歳の渡辺仁氏。後に銀座和光や東京国立博物館を設計した建築家でした。平成3年には18階建てのニューグランドタワーを開業し、現在では落ち着いた佇まいの本館とモダンなタワーが融合した新しい顔を見せています。

創業時のキャッチフレーズ「最新式設備とフレンチスタイルの料理」の元、フランスのホテルから総料理長に迎えたサリー・ワイル氏は後に日本のホテル・レストラン業界に大きな影響を与えた人物で、ホテルオークラ初代総料理長小野正吉氏やプリンスホテルグループ総料理長木澤武雄氏など数々の名声店の料理長を輩出しました。今では日本の洋食として根付いている「ドリア」や「ナポリタン」、「プリン・ア・ラ・モード」や「ラムボールド」などがこの厨房から生まれたそうです。

開業当時から皇族・イギリス王室などの賓客や、チャペリー・チャップリン、ペーブ・ルースなどの著名人も多く宿泊し、戦後マッカーサーが進駐軍臨時司令部を置いたことをご存知の方も多いのではないのでしょうか。現在もマッカーサーズスイート



として当時使われたライティングデスクとチェアは大切に残されています。

海岸通りから本館エントランスを抜けると広がる大きな階段はまるで舞踏会へ誘われているかのようです。二階ロビーは開業当時のままの佇まいを残し、中でも正面エレベーター上部に張られた綴織の「天女奏楽之図」や天井から吊るされた東洋風の伽藍の灯籠は、西洋風の建築と見事に調和し日本の表玄関として相応しいものでした。現在もロビーの大部分は当時のままだそうです。

ロビーに面するお部屋の一つ「レインボールルーム」は謝恩会の会場として何度も使われました。ホテルのシンボルマークである不死鳥の彫が施された漆喰の天井に七色の光が照らし出されることからその名前が付き、天井とマホガニーの柱のコントラストが印象的な重厚な雰囲気のお部屋です。また、銀杏並木の先に横浜港を臨む「フェニックスルーム」は、当時お客様の間で外洋人であったことを意識して作られた神殿を内包したかのような日本風の様式の会場で、皆さまにとって

思い出深いお部屋は階段の先にあります。当時は思い出し、ぜひ一度お出掛けになってみてはいかがでしょうか。

銀杏の葉が色づく11月は山手・家政科記念館にてバザーを予定しています。ぜひこちらにも足を延ばして頂き、思い出話をお聞かせください。



大学生のための クリスマスリース・お料理教室

「ひとりぐらし応援プログラム」として、学生課に協力する取り組みも五年目を迎えました。

クリスマスリース作りは、十一月二十二日フワワ&テーブルデコレーターの近藤由香里さん(D51)に教えていただきました。基本の作り方の説明を受けてから、白いバラのプリザーブトフラワーをポイントに花材を次々リース台に付けて二時間程で完成させました。

不安な表情で作り始めた学生達も、先生のアドバイスを受け次第に自分の個性を發揮し、素敵なリースに仕上がりました。

料理教室は、十一月二十九日クッキンググアートを主宰する大森育子さん(D52)にお願いしました。塩麴の作り方と、塩麴を使ったコールドチキン、スープ、簡単アップルパイの献立で、お料理の楽しさや応用の仕方等丁寧に教えていただきました。

山手は初めての学生も多く、家政科についてお話ししました。



お料理教室

りべるで主宰「お料理教室」に参加させていただきますました。初めてでしたので緊張していましたが、和やかな雰囲気のおかげで大きな調理台を見ると実習の時間を思い出し、懐かしさが込み上げて来ました。

今回は大森先生に、下処理に塩麹を使ったコールドチキン・ポークと新玉ねぎのポトフを教えてくださいました。鶏肉の整形は、尻糸ではなくラップを使って市販のハムの様にするプロの技!!随所に調理のポイントを教えてくださいましたので、夢中でメモを取りました。

下味で用いた塩麹によって、両品共深いコクとまろやかな塩味で、美味しかったです。家庭ではご馳走に、色味も美しいので、お客様へのおもてなしとしてもお出しできるような逸品でした。

またお料理を教えてくださいただいただけでなくお食事の前に、全ての

方々へ捧げられた友井先生の愛と感謝の祈りには胸が熱くなり、素敵な会に参加出来た事を幸せに感じました。ありがとうございました。

(荒井直子・D55)



大村先生のステンドグラス教室

一月二三日(水)一七名の出席でおひな様か、干支の巳を選んで作りました。次回は、二〇一四年一月二十九日、干支の馬の予定です。



大森先生のお菓子教室

一月二四日(木)二五名の出席でバナナチョコレートタルトを教えてくださいました。ベリーがたくさんでとても美味しかったです。



矢吹先生の北欧絵織物教室

六月二六日(水)一三名の出席で先生がこのためにデザインしてくださったボタンアートのプローチを教えてくださいました。次回は、二〇一四年六月二五日です。



小倉先生のビーズ教室

七月四日(木)八名の出席で、ジェットやガーネットを使いティアドロップが印象的なネックレスを作りました。次回は、二〇一四年七月三日です。



2013年度予算案 2013年6月8日

科目	金額(円)
消耗品費	120,000
(事務用)	10,000
(その他)	110,000
旅費・交通費	370,000
通信・運搬費	950,000
(郵便料金)	940,000
(宅急便)	10,000
印刷・製本費	800,000
報酬・手数料	2,000
会議・会合費	100,000
諸会費	70,000
渉外費	110,000
雑費	70,000
修繕費	0
事業費	0
寄付金	0
合計	2,592,000

2012年度決算報告書 (2012.4.1~2013.3.31)

科目	金額(円)
受取利息	19,127
事業費(グッズ販売、バザー)	519,090
寄付金	0
その他	0
小計	538,217
前年度繰越金	11,838,168
合計	12,376,385
奨学金基金	500,000
寄付金(バザー売上)	99,129
交際費	0
事業費(グッズ)	345,555
その他	500
小計	945,184
次年度繰越金	11,431,201
合計	12,376,385
繰越金明細	
定期貯金(株式会社ゆうちょ銀行)	2,658,826
定期貯金(同上)	3,012,000
通常貯金(同上)	972,197
通常貯金(同上)(グッズ)	908,382
普通預金(横浜銀行)	872,830
定期預金(横浜銀行)	3,006,966
合計	11,431,201

2012年度運営費報告書 (2012.4.1~2013.3.31)

科目	金額(円)
基金運営費(学院より)	2,450,413
合計	2,450,413
消耗品費	9,100
旅費交通費	369,780
通信・運搬費	871,742
印刷製本費	797,908
報酬手数料	1,865
会議	84,326
諸会費	70,000
渉外費	130,493
雑費	115,199
修繕費	0
事業費	0
寄付金	0
合計	2,450,413
収入-支出	0

会長 金子和恵

会計 石井志子

池田昭子

監査の結果、相違ないことを確認いたしました。2013年4月25日

監査 郷 佑美

浅見 治美

お願い

転居・住居表示変更のために、郵便物が届かない方が増えています。変更がありましたら、りべるで宛お知らせください。

TEL・FAX 045166210750

役員募集

りべるでのお手伝いをしていただける方を募集しております。木曜日が活動日で、交通費(実費)を支給いたします。※昼食は各自ご用意いただけます。

同窓会支部だより

東京支部

東京支部の活動をご紹介させていただきます。

昨年の東京支部総会は、10月4日(木)秋晴れの中、例年通り浜松町東京會館で開催されました。音楽学部教授でいらっしやる秋岡陽先生が新学長としてご挨拶下さり、創立150周年に向けての学院のグランドデザインに意欲満々のご様子でした。

午後の講演は詩人、伊藤比呂美さんをお迎えし、その独特な言葉遊び、楽しいけれど奥深いお話、魂が震えるような詩の朗読に、皆、圧倒されました。数々の文学賞受賞も納得のひとときでした。

11月は田端文士村記念館とその周辺を文学散歩。宮坂先生の説明を受けながら文士達ゆかりの地を散策しました。今年に入り、1月には初春歌舞伎、4月には懐かしい「アルカディア市ヶ谷」(以前の私学會館にてお花見ランチ。残念ながら桜は散った後でしたが和やかなお話がはずみしました。

今年の総会(10月3日)には大学から、近藤存志先生(文学部教授)をお招きして教会建築のお話を伺う予定です。また来年の初春歌舞伎は生まれ変わった新しい歌舞伎座でのこけら落とし公演を楽しみたいと思っております。

皆様お誘いあわせの上、ぜひ東京支部へご参加下さいませ。 支部長 多賀 礼子

関西支部

二〇二二年十一月二四日、JR大阪駅に隣接の、ちよっとお洒落なザ・リッツカールトン大阪を会場に、例年通り、関西支部同窓会(以下同窓会と略す)総会を開催しました。遠くは浜松、和歌山、金沢から、近くは京都、阪神地域から三六名のご出席でした。常連の方々に加えて、毎回ではなくても、懐かしいお顔を見せて下さる方、また初めての方と、同窓の皆様との一年に一度の再会は、何よりの喜びです。賛美と聖書の御言葉に聴き、祈りによって始める同窓会は、フェリス女学院同窓会の大切な時として継承しています。

白菊会同窓会の結成が一九〇七年五月二一日、同窓生と在校生の親睦をはかり、教養を高めることを目的として、当時のブラス校長の提唱により組織されたと、記録にあります。関西支部の発足は一九二六年一月七日で、今年は八七年目となります。現在オールフェリスとして名簿上、六五〇人余りの大世帯になっています。先達が担ってこられた関西支部を今後も継続することに意味があることと思います。

一九九四年以来支部長を担って参りましたが、本年十一月六日の同窓会をもって、支部長を交替いたします。これまでお支えいただきました各学部同窓会及び白菊会へ感謝を申し上げ、引き続き関西支部を覚えてお祈りくださいますようお願い申し上げます。

関西支部支部長 清水 操

西南支部

同窓生の皆様、お元気に過ごしてのことと存じます。

昨年度の同窓会・総会は三月三十日にホテルオークラ福岡にて開催いたしました。当番幹事は音楽科、九州・山口支部の役員六名の方がお世話してくださいました。大学より秋岡陽学長、立神粧子音楽学部長、名倉淑子演奏学科学教授をお迎えいたしました。

秋岡学長より大学の「今」のお話しを伺い、改めて時の流れを感じました。

立神先生のピアノ、名倉先生のヴァイオリンの演奏には、全員、それはうっとり聞き入ってしまいました。また、幹事さんの初企画により同窓会終了後には学科別の分科会もあり有意義な時間でした。

西南支部には、学部学年を超え和気藹々と活動しているサークルがあります。ハインドベルのベル・リリーズの優しい音色、ヴォーカルアンサンブル九州のコーラスを同窓会では聞いていただきました。

これまで同窓会は秋に開催してまいりましたが、次回二五年度は、色々調整の結果来年六月を予定しております。毎回福岡での開催ですが、同級生との再会を楽しみに各県から出席して下さりうれしい限りです。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

支部長 菊竹 美枝

白菊会より

いつも変わらぬお交わり、ありがとうございます。

フェリス白菊会は6月から服部会長の後を受け、新体制で次の3年間を受け継ぐ事となりました。役員会メンバーはあまり変わらず、いままでの服部体制を受け継いでゆくこととなりますので、よろしくお願ひします。さて、今年も秋のカイパーサタデーコンサートが決定しました。

今回は3年前に設置されたデイジーオルガンでの演奏会となります。毎朝の礼拝で使われ、私たちにはなかなかその響きを聞くことができません。この機会に是非そのすばらしい響きを味わっていただきたいと思っています。お出かけをお待ちしています。

白菊会会長 衛藤 怜子

Write Daisy Fair
カイパーサタデーコンサート
 二〇二三年十一月十六日(土)
 開場二二:三〇 開演二三:〇〇
 全席自由三、〇〇〇円(学生券一、〇〇〇円)

出演
 高橋 靖子(オルガン)
 増沢 真実(ピアノ)、高橋よしの(チェロ)
 高橋まきの(マリンバ)

同時開催美術展
 多田 紀子 バッチワークキルト作品展

●会場 フェリス女学院カイパー記念講堂
 ●主催 フェリス同窓会
 ●後援 フェリス女学院中学校高等学校
 ●問合せ 同窓会室(火・木 在室)
 ●TEL&FAX 〇四五・六四一・五二〇〇
 ●収益はフェリス女学院中学校高等学校に寄付いたします。

クリスマス礼拝のご案内

《日 時》

2013年12月14日(土)
午前11時～12時

《場 所》

カイパー記念講堂

《説教者》

日本基督教団
横須賀小川町教会牧師
寺田信一先生



クリスマス礼拝(2012年)献金先

献金総額 合計159,600円

- 特定非営利活動法人 難民を助ける会 ￥39,900
- 社会福祉法人 日本医療伝道会 ￥39,900
- 公益社団法人 日本キリスト教海外医療協会 ￥39,900
- 公益財団法人 日本ユニセフ協会 ￥39,900

●同窓会は外国にもあります

- ニューヨーク事務所
Mrs. Rakuko Kuwayama
136 West 24 St. New York, N.Y. 10011 U.S.A.
TEL 212-675-3840
- ハワイ事務所
Mrs. Chizu Hatakeyama
3043 Hollinger St. Honolulu, HI.
96815-4211 U.S.A.
TEL 808-735-1296 FAX 808-735-1579
- カリフォルニア事務所
Mrs. Junko Yokota
3117 Mabury Rd. San Jose, CA. 95127 U.S.A.
TEL 408-923-4632 FAX 408-729-5669

2012年度 フェリス女学院 同窓会連絡会 会計報告

(2012年4月1日～2013年3月31日) (単位円)

前年度繰越金(2012年4月1日)	852,871	
収 入	同窓会連絡会 維持費 白菊会、りてら、りべるて、Fグループ 各@¥70,000×4	280,000
	利息 2012年8月18日	76
	利息 2013年2月16日	90
	小 計	280,166
収入合計		1,133,037
支 出	支部総会お祝い金 東京、西南、関西支部 各@¥20,000×3	60,000
	送料 @¥520×3	1,560
	クリスマス礼拝経費(振込み手数料込)	63,796
	支出合計	125,356
次年度繰越金	1,007,681	

以上のとおりご報告いたします。

2013年4月1日 りてら会計 大胡 暁子 (印)

大学事務部より

日頃同窓会の皆様には、大学をお支えいただき感謝を申しあげます。

さて、秋岡学長の任期二年目となる今年から、大学は、将来に向けた大学の発展を期して四つの基本方針を定め、その実現を目指して「2013-2016年度中期計画」を策定し、具体的な大学改革の実施に踏み込みました。

四つの基本方針とは、①「建学の精神」教育理念の明確化②安心、安全なキャンパス③受験生、学生に支持される大学④大学の発展を支える組織体制の強化、です。

四つの基本方針を具体化する取り組みは九五の計画に落とし込み、PDCA (Plan-Do-Check-Action) サイクルを機能させ、四つの基本方針への貢献度に応じて、学納金やご寄付により私たちに託された限りある予算を効果的に配分し、継続的に大学の質の保証と改善を図り、大学をより魅力あるものにしてゆく取り組みです。

今後、さまざまな取り組みの中で、同窓会や同窓生の皆様にはご支援とご協力をお願いさせていただく場面があるかと思っております。よろしくお願ひ申しあげます。

さて、一昨年、昨年とこの場をお借りしてご支援をお願いしました、本学の東日本大震災被災学生への奨学金基金へのご寄付については、社会情勢の厳しい折にもかかわらず、たくさんのご協力をいただき、有難うございました。お蔭様で二〇一二年度は総額三、二

五七、六四二円を基金に充当することが出来、受給者一〇名全員の奨学金全額を賄うことができました。このうち四名は無事卒業しました。皆様の篤き思いと、「For Others」の変わらぬ思いを実感し、ご芳志に心より感謝申し上げます。

しかしながら、二〇一三年度については、必要とする基金の額に対して、未だ約一三〇万円の不足が予想されています。学内においても、あらためて教職員から寄付を募り、少しずつではありますが基金の充実を図ってまいります。

つきましては、この場をお借りして引き続きのご協力を、あらためてお願い申し上げます。また、昨年度から、この基金へのご寄付は所得税の寄付控除の対象となりましたので、ご寄付いただける場合は、ご面倒でも大学にご連絡いただき、所定の申込書によりお手続きをお願い申し上げます。

ご寄付についての問い合わせは、大学総務課 電話・045・8122821(代表) 04581228642(直通) FAX・04581228822にて承ります。

大学で働く私たちにとっては、さまざまな場面での卒業生のご活躍の報に接することで、励みとなり、また喜びとなります。今後とも引き続き大学を覚えていただき、ご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

今年度も、三同窓会のご発展と会員皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

■2013年度音楽学部コンサートのご案内■

- ◆9月30日(月)フェリス・音楽の花束 フェリス・ストリングアンサンブル
共催/神奈川県民ホール
出演/ヴァイオリン:名倉淑子 千葉純子 渡部基一 那須亜紀子
ヴィオラ:中村静香 二本木里 チェロ:井上雅代 藤村俊介
曲目/F.メンデルスゾーン 弦楽八重奏曲 変ホ長調 Op.20 他
神奈川県民ホール 小ホール 19:00開演 一般¥3,000
- ◆10月17日(木)室内楽の愉しみ
出演/学内オーディション合格者
フェリスホール 19:00開演 入場無料
- ◆11月14日(木)オーケストラ協演の夕べ(音楽学部・大学院音楽研究科合同)
出演/ソリスト:学内オーディション合格者 指揮:鷹羽弘晃
フェリスホール 19:00開演 入場無料
- ◆12月6日(金)フェリス管弦アンサンブル第12回定期演奏会
出演/ソリスト:学内オーディション合格者 指揮:飯吉高
フェリスホール 19:00開演 入場無料
- ◆12月23日(月・祝)第23回フェリス女学院「メサイア」演奏会
曲目/G.F.ヘンデル オラトリオ『メサイア』
フェリスホール 16:00開演 一般¥2,000
- ◆2014年3月14日(金)卒業記念演奏会
出演/卒業試験成績優秀者
フェリスホール 開演時間未定 入場無料

お問い合わせ:音楽学部演奏委員会室 045-895-1566

■Fグループ演奏会のお知らせ■

- ◆9月13日(金)ジョイント・コンサート
ピアノ、声楽、ヴァイオリンによるコンサート
フェリスホール 18:30開演 ¥1,000
- ◆10月18日(金)ティータイムコンサート
ソプラノ、リコーダー、オルガンによる演奏とお話
フェリスホール 14:00開演 ¥1,000(茶菓子付)
- ◆11月23日(土・祝)研修会とフェリスホールのための募金コンサート
1部:研修会 ~パッサカの時代に焦点を当てて~
講師・オルガン演奏:宮本とも子
2部:募金コンサート
フェリスホール 15:00開演 ¥2,000

お問い合わせ:Fグループ事務局 Tel & Fax: 045-681-6740

フェリス音楽教室

こどもたちとともに58年

生徒募集中

音楽は心のやさしさから・・・
心のやさしさは音楽から・・・

- ・ソルフェージュ(必修)クラス授業)
- ・実技レッスン(個人レッスン)
ピアノ・ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ
フルート・パイプオルガン
- ・2歳児親子クラス・音大受験科
- ・大人向けレッスン

毎週水/土曜日

フェリス女学院大学音楽学部内で授業
年に1回フェリスホールで発表会開催

2歳児親子クラス

生演奏・絵本読み聞かせを含む音楽体験
山手教室(水/土曜日)緑園教室(土曜日)

山手教室 045(212)2396 中区山手町37

緑園教室 045(813)1070 泉区緑園4-5-3

<http://www.ferrismusicinst.org>

天来の慰めをお祈りいたします。	西野	渡辺	清水	山口	向井	廣瀬	リ瀬	宮川	寺岡	北川	杉川	藤瀬	森瀬	七海	堀切	岡村	岡村	安達	弘申	山田	須田	柴田	西園	清原	池田	りてら	平松	小又	伊東	中川	Fグループ	大島	永島	柿木	中野	工藤	山永	名譽教授			
	玲子	靖子	由美	美子	富子	美穂	まゆみ	幸子	文江	陽子	万里	祥子	徳子	瑩子	栄子	伯子	陽子	孝子	雅美	美都	杜子	とも子	知子	潤子	英子	潤子	都姉	好子	恭子	和子	知子	君子	トヨ	吾郎	博詞	博先生	百合子	先生			
	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(E)	(E)	(E)	(E)	(E)	(E)	(E)	(E)	(E)	(E)	(E)	(E)	(E)	(E)	(E)	(E)	(E)	(E)	(E)	(M)	(M)	(M)	(M)	(M)	(M)	(M)	(M)	(M)	(M)	(M)	(M)	(M)		
	49	29	40	46	34	49	49	53	70	75	73	59	54	69	63	66	95	59	93	62	55	84	71	93	79	20	26	11	25	20	26	11	25	20	26	11	25	20	26	11	25
	三	三	二	二	二	二	二	三	三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	一	一	一	一	二	三	三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	
	三	三	二	二	二	二	二	三	三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	一	一	一	一	二	三	三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	
	二	二	二	二	二	二	二	三	三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	一	一	一	一	二	三	三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
	二	二	二	二	二	二	二	三	三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	一	一	一	一	二	三	三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
	二	二	二	二	二	二	二	三	三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	一	一	一	一	二	三	三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
	二	二	二	二	二	二	二	三	三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	一	一	一	一	二	三	三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
	二	二	二	二	二	二	二	三	三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	一	一	一	一	二	三	三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
	二	二	二	二	二	二	二	三	三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	一	一	一	一	二	三	三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
	二	二	二	二	二	二	二	三	三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	一	一	一	一	二	三	三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
	二	二	二	二	二	二	二	三	三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	一	一	一	一	二	三	三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
	二	二	二	二	二	二	二	三	三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	一	一	一	一	二	三	三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
	二	二	二	二	二	二	二	三	三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	一	一	一	一	二	三	三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
	二	二	二	二	二	二	二	三	三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	一	一	一	一	二	三	三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
	二	二	二	二	二	二	二	三	三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	一	一	一	一	二	三	三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
	二	二	二	二	二	二	二	三	三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	一	一	一	一	二	三	三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
	二	二	二	二	二	二	二	三	三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	一	一	一	一	二	三	三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
	二	二	二	二	二	二	二	三	三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	一	一	一	一	二	三	三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
	二	二	二	二	二	二	二	三	三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	一	一	一	一	二	三	三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
	二	二	二	二	二	二	二	三	三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	一	一	一	一	二	三	三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
	二	二	二	二	二	二	二	三	三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	一	一	一	一	二	三	三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
	二	二	二	二	二	二	二	三	三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	一	一	一	一	二	三	三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
	二	二	二	二	二	二	二	三	三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	一	一	一	一	二	三	三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
	二	二	二	二	二	二	二	三	三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	一	一	一	一	二	三	三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
	二	二	二	二	二	二	二	三	三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	一	一	一	一	二	三	三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
	二	二	二	二	二	二	二	三	三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	一	一	一	一	二	三	三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
	二	二	二	二	二	二	二	三	三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	一	一	一	一	二	三	三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
	二	二	二	二	二	二	二	三	三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	一	一	一	一	二	三	三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
	二	二	二	二	二	二	二	三	三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	一	一	一	一	二	三	三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
	二	二	二	二	二	二	二	三	三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	一	一	一	一	二	三	三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
	二	二	二	二	二	二	二	三	三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	一	一	一	一	二	三	三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
	二	二	二	二	二	二	二	三	三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	一	一	一	一	二	三	三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
	二	二	二	二	二	二	二	三	三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	一	一	一	一	二	三	三	三	二	二										